

沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価について (対象年度:令和3年度～令和7年度)

令和3年3月26日館長決裁

令和3年度から令和7年度を対象とした図書館評価について、令和3年3月11日に開催した令和2年度第2回沖縄県立図書館協議会での委員意見等を踏まえ、以下のとおり実施するものとする。

1 図書館評価の法的根拠等

図書館評価は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3の規定に基づき、実施している。また、同法第7条の4の規定により、運営の状況に関する情報の提供が求められることから、評価結果については、公表することとしている。

【参考・図書館法（抜粋）】

（運営の状況に関する評価等）

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

2 評価方法

- (1) 評価は、「沖縄県立図書館運営方針（令和3年3月策定）」に掲げる4つの目標（①県民に開かれた知の拠点②琉球・沖縄関係資料の中核的図書館③地域や県民の課題解決を支援する図書館④県域の中心となる広域型図書館）毎に、「目標」別取組状況検証票（様式1）を作成し、行うものとする。
- (2) 各目標ごとに、目的達成に向けた年度ごとの活動量を測定するための「活動指標」と、各目標の達成度合いを表す「成果指標」を2～5個程度設定するものとする。

- (3) 「活動指標」について、評価対象年度が始まる前に、計画期間（令和3年度～令和7年度）内の活動計画を定めるものとし、活動計画に定めた計画値と各年度の実績値の割合により、以下の判定区分により進捗状況を判定する。

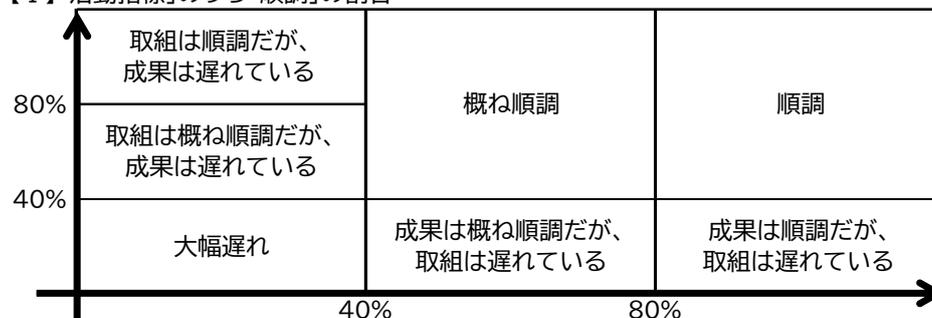
【活動指標の判定区分】

進捗状況	計画値に対する当該年度の実績値の割合	備考
順調	90%以上	当該年度において計画通り又はそれ以上取り組みを推進している。
概ね順調	75%以上～90%未満	年度別計画と比較して概ね取組を推進している
やや遅れ	60%以上～75%未満	年度別計画と比較して若干の遅れがある
大幅遅れ	60%未満	年度別計画と比較して大幅に遅れている
未着手	-	年度別計画に示した活動に未着手

- (4) 「成果指標」について、評価対象年度が始まるより前に、計画終了時点（令和7年度末）の「目標値」を設定するものとする。計画策定時（令和2年度末）の状況を示す「基準値」と「目標値」の差から計画期間内の各年度の「計画値」を算出し、各年度ごとに「計画値」に対して「達成」か「未達成」であるかを判定する（基準値が設定できない成果指標については、別途年度毎の計画値を設定する）。
- (5) 「活動指標」のうち「順調」となっているものの割合と、「成果指標」のうち「達成」となっているものの割合から、以下の「目標別評価の判定基準」区分表（「沖縄県 PDCA」に準拠）に基づき、目標ごとの判定結果を決定する。

「目標別評価の判定基準」区分表

【Ⅰ】「活動指標」のうち「順調」の割合



【Ⅱ】成果指標「達成」指標数の割合

- (6) 上記判定結果等を踏まえ、目標ごとに、推進状況の分析及び推進戦略案の策定を行う。
- (7) 各目標の判定結果等は、総括表（様式2）に記載するものとする。総括表には、「参考指標」（「成果指標」及び「活動指標」にはなじまないが、図書館の運営状況を判断する上で、参考となる数値）も記載するものとする。
- (8) 図書館は、各目標の判定結果等（推進状況）及び参考指標の推移等を参考に、総括評価（自己評価）をとりまとめるものとする。
- (9) 自己評価まで記載した様式について、図書館協議会で協議を行う。協議会における委員意見を基に、外部評価を会長と調整の上、作成し、公表する。

3 様式1「目標」別取組状況検証表の作成について

I 活動指標の進捗状況 (Plan・Do)

- (1) 評価対象期間が始まるより前に、活動指標ごとに、評価対象期間中の年度別計画を策定する。
- (2) 評価対象年度の終了後、当該年度から3年度前までの実績値を入力する。
- (3) 当該年度の実績値 (B) と当該年度の計画値 (A) の割合により、進捗状況を判定する。
- (4) 「備考 (活動概要)」欄には、年度別計画策定の考え方及び評価対象年度の活動概要 (特殊事情等も含む) を入力する。
- (5) 活動指標以外に、評価対象年度において、目標達成に資する「関連取組」等がある場合、「備考 (その他の活動等)」欄に入力する。

II 成果指標の達成状況 (Do)

- (1) 評価対象期間が始まるより前に、成果指標ごとに、計画終了時点 (令和7年度末) の目標値を策定する。
- (2) 目標値 (令和7年度) と基準値 (令和2年度実績) を基に、評価対象年度ごとに、当該年度の計画値を入力する。なお、計画値の算定式は以下のとおり。
計画値：{基準値 + (目標値 - 基準値) ÷ (目標値採用年 - 基準値採用年) × (実績値年 - 基準年)}
- (3) 評価対象年度の終了後、当該年度の実績値を入力し、計画値と比較し、達成状況 (「達成」又は「未達成」) を判定する。

III 目標の推進状況の分析 (Check)

- (1) 「I 活動指標の進捗状況」の「順調」となっている項目の割合と「II 成果指標の達成状況」が「達成」となっている項目の割合を2(5)の表に当てはめ、目標の推進状況を判定する。
- (2) 「(2)目標の推進状況の分析」欄には、評価対象年度に行った目標達成に向けた取組やその効果を記載する他、進捗状況が「順調」以外となった活動指標の要因等、推進状況の分析に資する事項を記載する。

IV 目標の推進戦略案 (Action)

- (1) 「III 目標の推進状況の分析」の判定結果等を踏まえ、活動指標の進捗に遅れが出ているものや、成果指標が「達成」となっていないもの等に対して、問題や懸念事項となっている内部要因や、社会情勢や県民ニーズなどの外部環境の変化に着目し、目標達成の為に推進戦略を記載する。

4 様式2総括表の作成について

1 各目標の推進状況

様式1で判定した目標の推進状況を「目標推進状況」欄に転記する。また、検証表の備考欄や「目標の推進状況の分析」欄に記載されている事項等を要約し、「備考（概要等）」欄に記入する。

2 参考指標の推移

参考指標としている項目について、評価対象年度等の実績値を記入する。

3 総括評価（自己評価）

1及び2を参考にし、評価対象年度の総括評価を図書館が作成する。

4 外部評価

- (1) 3の自己評価について、図書館協議会で協議を行い、各委員の意見を取りまとめ、外部評価コメントを作成する（コメント作成に当たっては、協議会会長と調整し、作成する）。
- (2) 外部評価も含めた様式1及び様式2を県立図書館ホームページで公開する。

5 各種指標の設定について

「活動指標」、「成果指標」及び「参考指標」は、概ね以下の基準により、選定するものとする。

活動指標：各目標の達成につながる活動のうち、数値で確認でき、かつ、外部の環境（利用者の意向等）に依存しない項目を選定する。

成果指標：各「目標」の進捗・成果を数値で確認できる項目について、外部の環境に依存するもの等を選定する。

参考指標：成果指標、活動指標の要件には該当しないが、推移を確認することにより、評価の参考とすることができる項目を選定する。
※目標値の設定なし。

各目標ごとの活動指標及び成果指標は以下の通りとする。

【目標1】県民に開かれた知の拠点 ・県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。	
【活動指標】 ① イベント実施回数（連携イベント含む） ② 展示架稼働率 ③ 障害者向け資料受入冊数	【成果指標】 ① 図書館 Web サイトアクセス（セッション）数 ② SNS（Twitter、Youtube）リーチ数（インプレッション数） ③ 年間利用者数（年度内に利用のあった登録者数） ④ 来館利用者満足度（総合）

<p>【目標2】 琉球・沖縄関係資料の中核的図書館 ・琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。</p>	
<p>【活動指標】 ①郷土資料受入冊数（購入） ②郷土資料受入冊簿（寄贈等） ③琉球・沖縄関係展示実施回数 ④琉球・沖縄関係講座実施回数（延べ） ⑤レファレンス協同データベース掲載件数（累積値）</p>	<p>【成果指標】 ①レファレンス協同データベースアクセス数 ②琉球・沖縄関係講座満足度 ③郷土フロア・サービス利用者満足度（資料の充実度等）</p>

<p>【目標3】 地域や県民の課題解決を支援する図書館 ・地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。</p>	
<p>【活動指標】 ①ハーフアインダー・ブックリスト作成・更新数（一般） ②ハーフアインダー・ブックリスト作成・更新数（郷土） ③展示架稼働率※再掲 ④レファレンス協同データベース掲載件数（累積値）※再掲 ⑤課題解決支援関連図書購入冊数（選書ベース）</p>	<p>【成果指標】 ①オンラインデータベース端末利用回数 ②レファレンス協同データベースアクセス数 ③ビジネスルーム利用数（自主＋貸出） ④レファレンスサービス利用者満足度</p>

<p>【目標4】 県域の中核となる図書館 ・すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。</p>	
<p>【活動指標】 ①遠隔地返却サービス利用可能箇所数 ②学校等訪問回数 ③移動図書館開催回数 ④専門性の向上に資する研修、研究会、視察等への参加人数（延べ）</p>	<p>【成果指標】 ①市町村巡回車資料搬送点数 ②未設置町村等向け貸出数（移動図書館＋一括貸出＋協力貸出） ③電子書籍閲覧数 ④各市町村、関係機関等満足度</p>

参考指標については、以下の通りとする。

【参考指標】

- （参考指標1）入館者数
- （参考指標2）蔵書冊数
- （参考指標3）貸出冊数
- （参考指標4）レファレンス件数（一般）
- （参考指標5）レファレンス件数（郷土）

6 各種指標の計画値、目標値等の見直しについて

「活動指標」の「年度別計画」及び「成果指標」の「目標値」（以下「目標値等」という）について、開始から2～3年経過した時点で、目標値等を大幅に超過している、又は、図書館運営や社会の状況等に鑑みて、目標値等の達成が不可能と判断される場合、図書館協議会に諮った上で、目標値等の見直し（修正）を行うものとする。

なお、「参考指標」については、直接評価に影響しないことから、随時見直し可能とする。